

平成27年度

知床半島先端部地区利用状況調査業務

報告書



平成27年11月

環境省釧路自然環境事務所

羅臼遊魚釣り部会

目次

1. 業務概要	
1-1 業務目的	1
1-2 業務内容	
1-3 実施期間	2
1-4 実施場所	
2. 知床半島先端部地区の動力船による利用状況調査	
2-1 インターバルカメラの設置、電池交換の実施	3
2-2 インターバルカメラの設置状況	4
2-3 知床半島先端部地区の動力船による利用状況	4
3. 先端部地区の情報収集と利用者指導	
3-1 相泊～知床岬までのトレッキングに関するアンケート内容	13
3-2 相泊～知床岬までのトレッキングに関するアンケート結果	
3-3 相泊～知床岬までのトレッキングに関する不適切な利用	14
3-4 モイルス、ペキンの鼻における聞き取り調査結果	
3-5 船上から確認した知床半島先端部地区利用状況	
3-6 難所の状況変化及びヒグマの出没情報	15
4. 情報のとりまとめと提供	

1. 業務概要

1-1 業務目的

知床国立公園では、原始性の高い自然や野生動物とのふれあいを求める利用ニーズの増大と利用の多様化に伴い、利用者の集中や不適切な利用に伴う自然環境への悪影響が懸念されており、釧路自然環境事務所では、平成21年度には、「知床世界遺産ルサフィールドハウス」を整備し、知床岬等の知床半島先端部地区の利用者に対し、情報提供やルール・マナーの啓発等を実施している。

本業務は、知床半島先端部地区の利用状況調査を行い、先端部地区の適正な利用のあり方の検討に資するデータを収集することを目的とする。

1-2 業務内容

(1) 知床半島先端部地区の動力船による利用状況調査

知床岬地区の利用状況を把握するため、ハイシーズンの約1か月間、インターバルカメラを設置し、一定の間隔（ただし夜間を除く）で写真を撮影することにより動力船による文吉湾の利用状況を調査する。

(2) 先端部地区の情報収集と利用者指導

ハイシーズンの約1か月間、羅臼町相泊から知床岬までの海岸線トレッキング等の利用状況を把握するため、トレッキングルート上で聞き取り調査を実施する。

聞き取りは、1.目的地、2.行動予定、3.クマ対策、4.事前にルサフィールドハウスへの立ち寄り、5.「知床半島先端部利用の心得」「シレココ」の認知度、6.パーティーの数等について実施した。あわせて難所の状況変化（落石や崩落頭）、ヒグマ出没等の情報収集を行った。

また、知床半島先端部地区利用の心得から逸脱した不適切な利用（不十分なヒグマ対策、たき火の実施、ゴミの投棄、番屋への宿泊、釣魚の投棄等）は特に認められなかった。

(3) 情報のとりまとめと提供

上記(1)(2)の実施状況を週ごとにとりまとめ、ルサフィールドハウスに提供した。

1-3 実施期間

インターバルカメラは8/11～8/31の期間で設置し、聞き取り調査も同期間で行った。1ヶ月程度実施することとされており、8月初頭から実施できる体制をとっていたが、海況により船が出せなかったため、短縮しての実施となった。

1-4 実施場所

インターバルカメラは知床岬の文吉湾3箇所を設置した。また聞き取り調査はモイレウシ、ペキンの鼻で実施した。

2. 知床半島先端部地区の動力船による利用状況調査

2-1 インターバルカメラの設置、電池交換の実施

インターバルカメラは知床岬の文吉湾の番屋付近 2カ所（近景の撮影を目的とする。以下、「近景カメラ1」、「近景カメラ2」と呼ぶ。）及び台地上のエゾシカ仕切り柵（遠景の撮影を目的とする。以下、「遠景カメラ」と呼ぶ。）の3カ所に設置した。設置期間は8/11～8/31である。

インターバルカメラは5分に1回、画像を記録する設定とした。原因は不明であるが、近景1カメラのデータはほとんど欠損していた。当該カメラは、旧式のカメラだった。

作業日程は以下のとおり。

2015.8.11（火） 8：00 インターバルカメラの設置

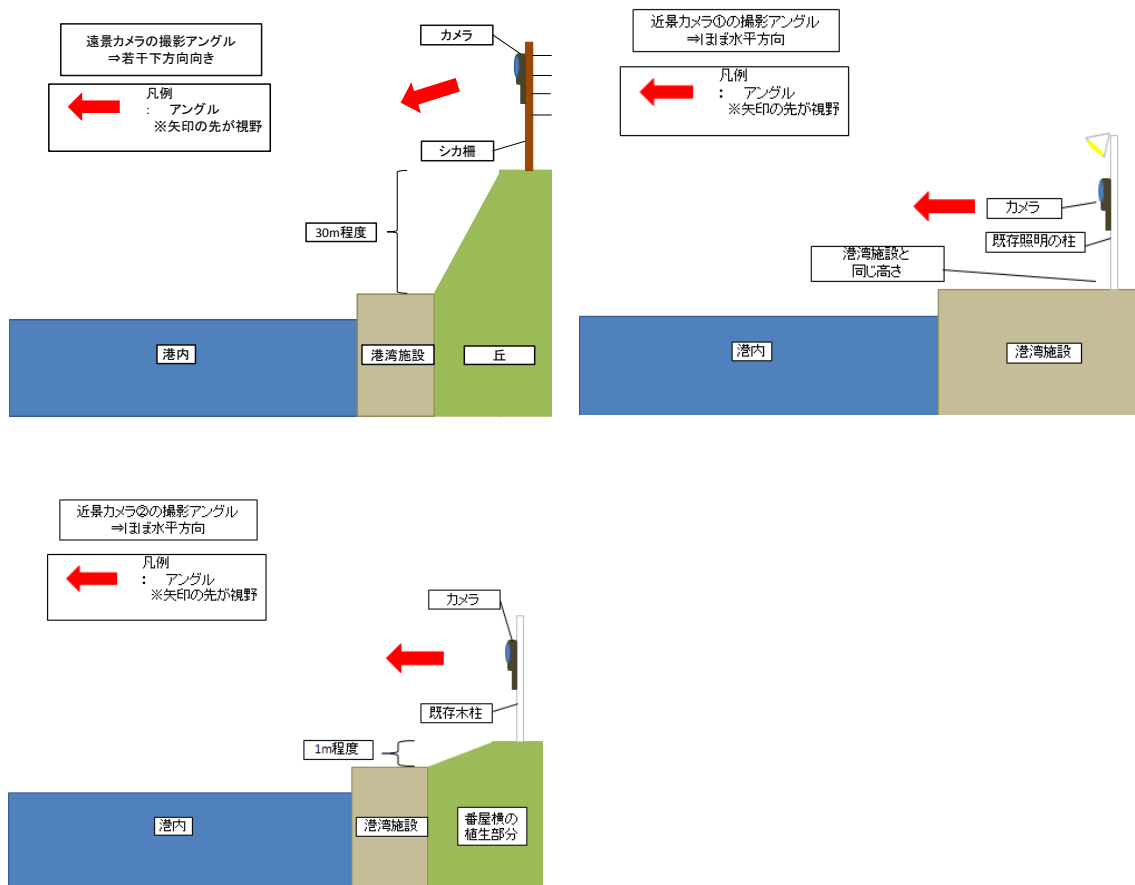
2015.8.31（月） 6：00 インターバルカメラの回収
（インターバルカメラのデータは8/31 5：55まで）

データ状況	遠景カメラ	近景カメラ1	近景カメラ2
8/11～8/31	8/11 8:48～ 8/31 5:48	×	8/11 9:04～ 8/31 5:55

2-2-1 インターバルカメラの設置位置



2-2-2 インターバルカメラのアンゲル



2-3 知床半島先端部地区の動力船による利用状況

インターバルカメラの画像を確認した結果、動力船による利用状況は以下のとおりであった。

日付	船舶の種類	入港時間	出航時間	滞在時間
2015.8.13	小型船	5 : 11	5 : 26	0 : 15
2015.8.13	プレジャーボート	14 : 01	8/14 5 : 26	15 : 25
2015.8.13	プレジャーボート	15 : 01	8/14 4 : 13	14 : 10
2015.8.14	プレジャーボート	9 : 53	8/15 4 : 15	18 : 15
2015.8.15	ヨット	15 : 30	8/15 3 : 56	12 : 25
2015.8.19	観光船	11 : 22	11 : 27	0 : 05
2015.8.25	観光船	11 : 27	12 : 02	0 : 35

確認された船舶について、画像と画像から読み取れる状況を以下に示した。

① 8/13 小型船

5:11 入港し 5:26 まで停泊していた。
文吉湾での滞在時間は約 15 分だった。
画像から上陸等は確認できなかった。



② 8/13 プレジャーボート

14:01 入港し、翌日の 5 : 33 まで停泊していた。
文吉湾での滞在時間は 15 時間 25 分程度であった。
2 名ほど上陸している様子が確認された。



③ 8/13 プレジャーボート

15:01 入港し、翌日の 4:13 まで停泊していた。
文吉湾での滞在時間は約 14 時間 10 分であった。
画像から上陸は確認できなかった。



④ 8/14 プレジャーボート

9:53に入港し、翌日の4:15まで停泊していた。
文吉湾での滞在時間は約18時間15分程度であった。
画像から上陸等は確認はできなかった。



⑤ 8/15 ヨット

15:30 入港し、翌日の 3:56 まで停泊していた。
文吉湾での滞在時間は約 12 時間 15 分程度であった。
画像からは上陸等は確認はできなかった。



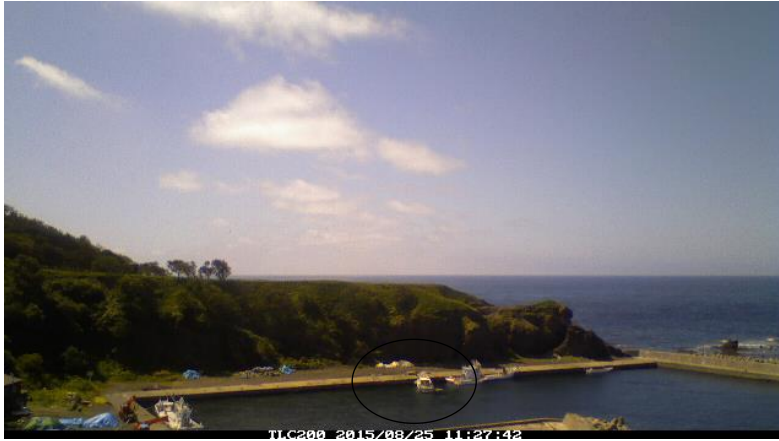
⑥ 8/19 観光船

11:22 入港し、11:27 まで停泊していた。
文吉湾での滞在時間は約 5 分程度であった。
画像から上陸等は確認はできなかった。



⑦ 8/25 観光船

11:27 入港し、12:02 まで停泊していた。
文吉湾での滞在時間は約 35 分程度であった。
3 名ほど上陸している様子が確認された。



動力船による利用状況のまとめ

8/11から8/31の約1か月間の画像データから、文吉湾において観光船(2回)、プレジャーボート(3回)、ヨット(1回)、小型船(1回)の利用が確認できた。

毎年、同時期・同程度の滞在時間の上陸が確認されていることから、同一人物による利用の可能性が考えられる。今後、カメラを船舶名又は利用者の顔が映るような場所に設置する等、工夫の余地がある。

また、本業務も平成24年度から始まり、今年度で4年目なので、一度、過去の情報を整理しても良いのではないだろうか。

2-4 動力船以外の文吉湾利用者の画像データ

8/14 11:03 遠景カメラに1名が写っていた。



8/16 14:56 遠景カメラに1名が写っていた。



3. 先端部地区の情報収集と利用者指導

3-1 相泊～知床岬までのトレッキングに関するアンケート内容

相泊～知床岬までの海岸トレッキング等の利用状況を把握するため、8/11～8/31までモイルスもしくはペキンの鼻における聞き取り調査を実施した。モイルス、ペキンの鼻までは船舶を使用してアクセスし、毎日4時半ごろから11時頃までの利用者に対して聞き取りを実施した。

聞き取り調査は、目的地、行動予定、クマ対策、ルサフィールドハウスへの立ち寄りの有無、「知床半島先端部地区利用の心得」「シレココ」の認知の有無、パーティーの人数等について実施し、合計2組、4名から回答を得た。

今年度は、実施期間中に遭遇したトレッカーが少なかったことから、得られたデータが例年よりも少なかった。

3-2 相泊～知床岬までのトレッキングに関するアンケート結果

① 目的地

ウトロが1組、ペキンの鼻が1組であった。

② 行動予定

全てのパーティーが往復ともカヌーであった。行きに船を使用する者は確認できなかった。

③ クマ対策

全てのパーティーがクマスプレーを所持していた。フードコンテナは所持していなかった。

④ ルサフィールドハウスへの立ち寄りの有無

1組のパーティーがルサフィールドハウスに立ち寄った。1組は立ち寄ったが閉館していた。

⑤ 「知床半島先端部地区利用の心得」「シレココ」の認知の有無

全てのパーティーが両方とも知っていた。

⑥ パーティーの人数

1人パーティーが1組、3人パーティーが1組

3-3 相泊～知床岬までのトレッキングに関する不適切な利用

モイルス等での聞き取り調査の実施期間、知床半島先端部地区利用の心得から逸脱した不適切な利用（不十分なヒグマ対策、たき火の実施、ゴミの投棄、番屋への宿泊、釣魚の投棄等）の有無について確認を行ったが、特に認められなかった。

3-4 モイルス、ペキンの鼻における聞き取り調査結果

目的地	行動予定	クマ対策	ルサ FH への立ち寄り	心得、シレココの認知	人数	備考
ウトロ	カヌー	クマスプレー	立ち寄った	両方とも知っている	3	
ペキンの鼻	カヌー	クマスプレー	立ち寄った。閉館していた	両方とも知っている。	1	

3-5 船上から確認した知床半島先端部地区利用状況

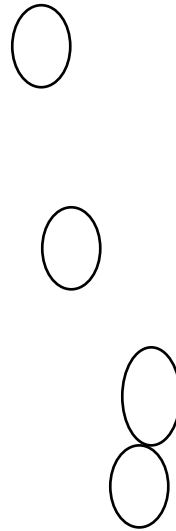
日付	場所	行動	人数	その他
8/21	ペキンの鼻	カヌー 7 艇	11	
8/23	化石浜	カヌー 1 艇	1	
8/31	トッカリ瀬	トレッキング	2	

3-6 難所の状況変化及びヒグマの出没情報

調査期間中、難所については特に状況の変化は認められなかった。ヒグマについては、調査期間中、8月12日頃のから、トツカリ瀬、ペキンの鼻、滝の下、モイレウシ等で確認された。

日付	場所	頭数
8/12	滝川	1
8/12	ペキンの鼻	3
8/12	トツカリ瀬	1
8/13	滝ノ下	1
8/13	トツカリ瀬	1
8/13	ペキンの鼻	1
8/14	トツカリ瀬	1
8/14	ペキンの鼻	1
8/14	滝の下	1
8/14	赤岩	2
8/18	トツカリ瀬	1
8/18	滝の下	1
8/18	滝川	1
8/22	ペキンの鼻	1
8/22	トツカリ瀬	1
8/22	滝川	1
8/23	ペキンの鼻	1
8/23	モイレウシ	1
8/24	ペキンの鼻	1
8/31	船泊	1

ヒグマの出没地点。○で囲まれた場所で確認された。



4. 情報のとりまとめと提供

本業務の実施にあたっては、電話および来訪により、実施結果を週に1回程度、ルサフィールドハウスに情報提供した。